

創立50周年記念誌

MURORAN

TENNIS ASSOCIATION

50th Anniversary of Establishment



2019年度 室蘭テニス協会役員

	役職名	氏 名	所 属 団 体
	会長	岡田 健一	
	理事長	高橋 邦彦	日本製鉄
	副理事長	北村 達哉	TBC
総務委員会	常任理事	渡辺 美希	スワローズ
	委員	齊藤 葉子	オーキッド
	委員	本田 美智代	女子連
競技委員会	常任理事	高橋 邦彦	日本製鉄
	委員	清水 博昭	TBC
	委員	渡辺 貴士	スワローズ
育成委員会	常任理事	大類 隆之	
	委員	北村 達哉	TBC
	理事	高橋 邦彦	日本製鉄
	理事（監査）	佐々木 彰夫	スワローズ
	理事	鎌倉 健二	三菱製鋼室蘭特殊鋼
	理事	及川 裕之	室蘭市役所
	理事	垣原 肇	日本製鋼所
	理事	篠原 正裕	オーキッド
	理事	三宅 卓也	アウルズ
	理事	佐藤 幸夫	日本工学院
	理事	湊 博詞	ちゃんこ。
	理事	嶋崎 嘉光	TBC
	理事	上野 栄次郎	SALT
	理事	菊地 竜平	海星学院高校
	理事	片岡 遼	室蘭工業高校
	理事	山田 明弘	室蘭清水ヶ丘高校
	理事	平畑 康弘	室蘭東翔高校
	理事	山形 尚史	室蘭栄高校
理事（監査）	竹森 伸幸	大谷室蘭高校	

創立50周年記念誌

50th Anniversary of Establishment

Index

祝辞

室蘭テニス協会 会長 岡田 健一	1
室蘭テニス協会 理事長 高橋 邦彦	2
室蘭テニス協会のあゆみ	3
創立50周年記念交流大会	4
創立50周年記念祝賀会	7
加盟団体チームの紹介	9
高体連室蘭地区予選 栄誉のあと	24
北海道都市対抗テニス大会 過去30年の結果 ...	27

**室蘭テニス協会
会長**

岡田 健一



室蘭テニス協会創立50周年を迎えて

平素より、当協会に加盟されている会員、団体及びテニス愛好会の皆様におかれましては、当協会の各種事業等におきまして、多大なるご支援、ご協力を頂いておりますことに感謝と御礼を申し上げます。

当協会は、昭和44年に発足し、元号が「平成」から「令和」に代わった節目の年に、50周年を迎えることができたことは嬉しい限りであります。これも偏に、歴代の会長、役員及び会員の皆様、関係機関、テニス愛好家の皆様のご尽力の賜物であり、これまでの活動に敬意と感謝を申し上げます。

さて、日本におけるテニス人口をみますと、約500万人であり、年々減少傾向であると伺っております。しかしながら、2018年9月の全米オープン、2019年1月の全豪オープンを優勝した大坂なおみ選手の活躍、そして、男子では、錦織選手や西岡選手の活躍の影響により、ジュニアを含めテニス人気上昇していると感じております。

また、2020年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。この日本において、世界のトッププレーヤー達が集結し、金メダルを目指し全力でプレーする姿を観られることは、貴重な経験であり、テニスの普及に期待を寄せるところであります。

当協会におきましても、テニスを通じ、競技スポーツとして技術の向上を始め、健康や体力づくり、子どもから高齢者までの幅広い年代で楽しんで頂ける生涯スポーツとして、当協会としての役割は大きいものと考えております。今後とも加盟する会員、団体をはじめ関係各位の皆様と連携を深めながら、テニスの普及・振興に取り組んでいく決意でありますので、引き続きのご指導・ご鞭撻を宜しくお願い致します。

結びに、会員の皆様、各団体の今後益々のご活躍とテニスを愛する皆様のご健勝をご祈念致しまして、ご挨拶とさせていただきます。

室蘭テニス協会
理事長

高橋 邦彦



祝！室蘭テニス協会50周年

室蘭テニス協会50周年を迎えるに当たり、これまで発足・運営・発展・テニスの普及にご尽力いただいた多くの諸先輩氏に対し、心から敬意と感謝の言葉を申し上げたいと思います。

室蘭テニス協会は、昭和44年5月に発足し当時は軟式庭球連盟の内部組織として硬式大会を開催していたようです。

発足以来、諸先輩の発展・育成により、都市対抗1部の継続や全国大会に出場する選手の輩出や、平成30年には祈願の都市対抗全国大会出場も果たすなど50年経った今も成長していることを証明しています。

一方で、少子・高齢化により会員数が減少していることも、現在の協会の悩みであり、今までテニスを通して協会と関わって来た皆さんに、テニスを再度行うきっかけや現在のテニス協会の現状を知って頂く為に、50周年記念事業開催を企画・実行させて頂きました。企画の浸透の為に、各クラブから実行委員を選定して頂く事で、各クラブとの更なる連携と迅速な対応が出来たことで、記念大会参加に60名・懇親会に46名の参加があり、盛大に盛り上がる事ができたことに感謝しております。開催の実行に当たりご尽力頂いた、協会執行部・実行委員・参加された皆様にお礼申し上げます。

今後も協会員の維持をしながら、女子連との連携を行い微力ですが会員数を増加できる環境作りと現協会員に楽しんで頂ける協会作りをする努力をしていきますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に私事ですが、この室蘭テニス協会には15歳から32年間お世話になり、その間、人との関わり方や礼儀・努力の大切さを教わり、自分を成長させて頂いた協会に感謝します。今後は恩返しを兼ねて、室蘭全体が楽しく生涯スポーツとして継続できるような仕組み作りを行ってまいりますので、よろしく願いいたします。

「 室蘭テニス協会のあゆみ 」

昭和40年、テニス愛好者を募って室蘭クラブを結成し、新日鐵・日鋼・室蘭工大・日石等のテニス部に声をかけ設立した。

発足当初の会員数は40名程度で、大会参加者は20数名、少ないときには10名程度で行うこともあり、当時のコートは、茶津・知利別・室蘭工大の各コートを利用し、練習や大会を行っていた。

以降、年々加盟者が増え、一般男子のみであった大会に女子の部を設け、更に一般男子を1部・2部・壮年に分け、昭和50年からは高校男子の部も設けられた。

その後、ジュニア育成や強化活動が実を結び、全道大会・全国大会で活躍する選手を送り出すことができた。

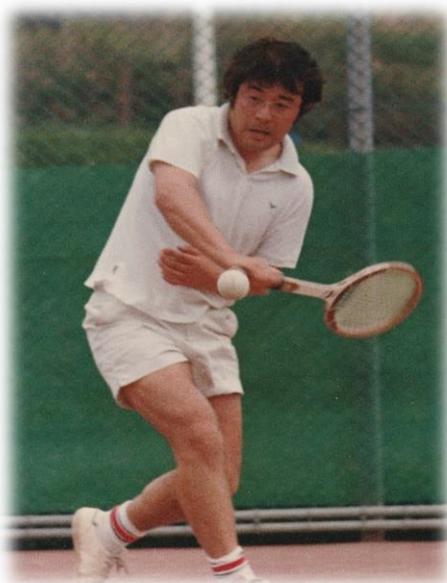
テレビアニメや世界で活躍する日本人プレイヤーの影響もあり、テニス人口の増加も見られたが、現在は減少傾向にある。生涯スポーツとして長く続けられるように、取り組みが必要であることが現在の課題である。

また、現在使用している高砂テニスコートと祝津テニスコートは、2024年には入江競技場へ移転が決まっている。

新しい施設への期待と、身近なところからテニスコートが無くなる淋しさはあるが、テニス愛好者が楽しく安全に使用できる施設になることを今は願っている。



1974年 仲間との忘年会



「 室蘭テニス協会 創立50周年記念交流大会 」

2019年10月26日（土）室蘭市高砂テニスコートにて、50周年記念交流大会を開催しました。テニス協会に加盟している団体はもちろん、テニス愛好者の方、ジュニアの子供達、普段あまり言葉を交わす機会のない方々も参加してくださり、総勢60名での記念交流大会になりました。当日は、前日からの天候不良で開催が危ぶまれましたが、主催者と参加者の強い気持ちを通じ、汗ばむほどの天気になりました。大会後にはテニス講習会も行い、参加者全員がテニスを楽しみました。



挨拶をする岡田会長



開会式の挨拶をする高橋理事長







「室蘭テニス協会 創立50周年記念祝賀会」

昭和43年に室蘭テニス協会が創立されて、今年で50年を迎えました。

10月26日(土)にビアキャビンにて46名の参加者により創立50周年記念祝賀会が開催されました。祝賀会では祝辞や祝電をいただき、スライドショーやビンゴ大会も企画し、会場が一体になってお祝いの時間を過ごすことが出来ました。



開会の挨拶をする大類氏



祝辞をくださった松井氏(左) 嶋崎氏(右)





室蘭テニス協会 加盟団体チームの紹介



【沿革】 ※生い立ち

日本製鉄硬式テニス部として発足の資料は残ってはいませんが、1971年の第二次テニスブームでは、昼休みを利用して各工場の駐車場でテニスを行うほど人気があったそうです。その仲間が集い、同好会から文体部に昇格し今に至っています。当時は、知利別コート・輪西コート・中島コート（全7面）を所有していました。現在はありません。

【活動報告】

現在、日本製鉄硬式テニス部は社員・協力会社含め25名の部員で活動をしています。練習は全員そろっての活動は行っていませんが、夏場は週末に室蘭市営の高砂コートや祝津コートで、冬場は各市体育館で室蘭のテニス仲間を交えて練習を行っています。大会の活動は、主に室蘭テニス協会主催の個人戦（シングル・ダブルス）に出場し、上位入賞を納めている選手もいますし、団体戦では2011年度に北海道実業団対抗戦で準優勝の実績があります。現在は団体戦には出場はしていませんが、新入部員も増加傾向にあり、活動を活発化させる為にも、団体戦出場を目標にして行きます。



【沿革】

室蘭市役所テニス部は 1975 年(昭和 50 年)に市役所に入庁した新人を中心に発足しました。当初は 10 名程度でスタート、現在の市立病院保育所付近にあった山手テニスコートで、平日は退勤 17 時から日没まで、土日祝日は全て練習か高砂での試合の毎日でした。おかげでメンバーは室蘭テニス協会ですぐに 1 部入りを果たすことができました。また、実は第 1 回全道市役所大会は当時の部員が中心となり他都市テニス部に働きかけ(られ?)、1984 年(昭和 59 年)に高砂テニスコートで開催しました。(全道市役所大会は、その後最大で参加者 550 名超の大会へと成長し、コートが足りないため室蘭での開催は最初で最後となってしまいました。)その記念すべき第 1 回目の大会で男子は団体戦優勝、女子は個人戦優勝と大変輝かしい成績を残しておりますが、これは「室蘭の生ける伝説」松井繁幸先生が日々指導して下さったおかげです。残念ながら、先生より先にほとんどの部員は引退してしまいました。

それでも、山手コートは土地柄、ベースラインの後ろが狭いどころかコート自体も縦横 1m 程狭かったため、ライジング打法の部員が続出、省エネテニスを学んだおかげで現在も当時のメンバーが数人現役でプレーできております。

【活動報告】

一時は 30 名を超える部員がおりましたが、現在は大会タイトルにも程遠く、祝津テニスコートで土日祝日の朝 6:30 からひっそりと活動しております。数年後には入江運動公園内に新しいテニスコートが完成するとの情報もあり、その暁には約 40 年振りに室蘭での全道市役所大会の開催が期待されておりますので、それまで部員を騙し騙し繋いでいくことが当面の最大目標であります。室蘭テニス協会創立 50 周年おめでとうございます。



【沿革】

アウルズテニスクラブは 1979 年以前より、当時、室蘭市の聖ベネディクト女子学園が同女子学園のテニスコートで室蘭工業大学テニス部の学生がコーチとなり開催されたテニススクールの卒業生達を中心にベネディクトテニスクラブとして発足されました。

その後 1992 年に仕事帰りのナイターテニスが主体になりチーム名を夜活動する『ふくろう』に例えてアウルズテニスクラブと名称を変更しました。

【活動報告】

現在は登別市の岡志別運動公園のナイターテニスコート 2 面で 19 時～21 時の 2 時間、週 2 回テニス練習をしており、冬場は室蘭市内の体育館をお借りしています。

会員は現在 27 名で会員募集は主にインターネットのブログを通して行っているため、室蘭市、登別市、伊達市、苫小牧市などの地域から来ており年代も 20 代から 60 代までこれも幅広い会員構成となっていて単身赴任者も常に数名います。

テニスの腕前も初心者から中上級者まで様々です。

練習メニューはナイターで時間が限られますので、球出しからゲームまで効率よく全員がまんべんなくコートを使える様に皆で工夫しながらテニスの技術向上と和気あいあいとチーム内の交流を深めています。

その他の活動として、テニス合宿やプロのテニスコーチを招いてテニスレッスン、バーベキュー付きテニス大会も行っています。

テニス以外でもホテル鑑賞会や釣り堀、室蘭港からのナイトクルージングなどのイベントも皆でアイデアを出し合い行いました。

テニス協会主催の試合も毎回出場させて頂き良いテニス意欲の向上となっています。

【最後に】

アウルズテニスクラブは当初、聖ベネディクト女子学園(現在海星学院高等学校)のナイターテニスコートをお借りして練習しておりましたが諸事情で使用出来なくなり、ナイター設備のあるコートを求めて伊達市の北電コートをお借りして練習をした時期もありました。そこも 3.11 の震災の節電でナイター設備が使用出来なくなり現在の登別市の岡志別コートに落ちつく等、これまで練習場所の確保に苦勞してまいりましたが、その都度、乗り越えてきた経緯があります。

これからもアウルズテニスクラブを通して会員が楽しいテニスライフを送れるよう、また室蘭のテニス発展のために貢献するように活動を継続して行きたいと思えます。

【沿革】

今から36年前の1983年6月、現スワローズ代表の彰夫さんがテニス仲間数名と、札幌加盟団体の参加をきっかけに「スワローズ」が誕生しました。

スワローズの名付け親は水野さん…。

【活動報告】

登録人数は20名程のチームです。

昼間に、おやつやお茶を持ち寄り、楽しくテニスをするレジェンド達と、室蘭の試合はもちろん、近隣都市の試合・札幌加盟団体・都市対抗など技術向上を目指す若者？達の2部構成の活動です。スワローズ主催のテニスパーティも、年1回開催しています。

以前は、厚真での宿泊合宿を行っていましたが、チームの高齢化とあまりにも騒がしすぎるので、出入り禁止になってしまったこともあり、現在は祝津テニスコートで、スワローズ以外の方にも参加してもらい、団体戦など規模を縮小して楽しんでいます。

これからも、細く長くテニスを楽しんでいけるチームでありたいと思います。



【沿革】

室蘭テニス協会創立 50 周年、心よりお慶び申し上げます。

私たち女子連は、日本女子テニス連盟北海道支部室蘭地区として活動しています。

道内には全 8 地区あり、室蘭は 1988 年、4 番目に結成されました。

現在の会員数は 32 名(女性)、賛助会員は 10 名(男性)です。会員のうち 10 名のかたが理事として、年間活動・運営を担って下さっています。

【活動報告】

女子連では、8 地区の代表が集まる全道大会が年間に 3 大会あり、それぞれ室蘭予選大会を行います。お仕事をお持ちのかたにも参加して頂けるようにと、土日の大会も企画しました。

女性が、家をあけて全道大会に出るのは大変なことと思いますが、テニスを通じて全道各地の方と交流して、刺激を受けたりお友達になったりと、楽しんで頂いているようです。

この 3 大会の他、みんなでテニスを楽しむ親睦の大会が、春・夏・秋に 1 回ずつあります。夏にはスイカ割り、秋には豚汁を作ってみんなで頂き、ワイワイと楽しみました。

初中級練習会は、今年は月 2 回、全 13 回行いました。参加人数が増えたのは、とても嬉しい事です。練習内容は、理事さんの中で当番担当を決め、メニューも各々工夫して行いました。テニス協会の講習会では、女子連の練習会を紹介して頂くなど、お世話になっています。

女子連も、おかげさまで昨年、30 周年を迎えました。

記念大会、チャリティーバザーを開催し、収益金は室蘭市の少年少女スポーツの為に寄付させて頂きました。一番小さい地区ですが、室蘭の皆さんは、大会や行事の度にいつも暖かく明るく、参加し協力して下さいます。本当に有り難い気持ちでいっぱいです。

創設から長きにわたって女子連に関わりご尽力下さった諸先輩に敬意を表し、現在も支えて下さる皆様、大会に協賛頂いた児玉スポーツさん、みなさまに感謝しながら、これからも活動していきたいと思います。女子連に興味のあるかたは、いつでもお声をかけて下さいね。お待ちしております。



【沿革】 ※生い立ち

室蘭オーキッドテニスクラブ誕生のきっかけは、昭和ももう終るその頃、とある喫茶店をたまり場としてムロチョンさんや、近所の奥様達がいつも集っておりました。その中に、たまたま学生時代にテニスをやっていたという、HBC室蘭局長がおられ、ひとつテニスを教えてもらおうかと言うことになり、十数名が集まり、テニス経験のあるHBC職員の方にもテニスコーチとなって頂き、テニス同好会のような形で平成元年にオーキッドテニスクラブが誕生しスタートしました。

その後、テニス経験者のムロチョンさんたちが加わり、メンバーが増えていきました。ちょうどその頃に、室蘭工業大学で開催されていた夏季テニス教室に参加し、腕を上げていたメンバーもいたとか。室蘭工業大学の先生方とは、その時のご縁で、今でも秋には交流戦を行っています。今はもう無くなってしまいましたが、HBC主催のダブルス合わせて100歳テニス大会にも参加した楽しい思い出があります。

【活動報告】

現在約30名の会員がおり、夏場は祝津公園テニスコートで週末練習をしています。初心者から大会参加者まで幅広い構成メンバーが所属しています。また、冬場はテニスコートが閉鎖になってしまうので、西中学校体育館の施設開放を利用させてもらっています。祝津公園テニスコートで毎年開催されている室蘭テニス協会主催の講習会に参加されている方の入会もいつでも大歓迎ですので、ぜひ皆様の入会をお待ちしております。

※オーキッドテニスクラブの主な年間行事及び会費について

練習コート	祝津公園テニスコート（4月から10月まで）
練習日	土曜日12時から/日曜日13時から開催しています。 （注：冬季11月から3月まで室蘭西中学校の体育館で18時半から21時まで他団体と合同練習）
合宿練習	年1回程度、春に1泊2日で親睦を兼ねて練習をしています。途中参加も可ですよ。
3団体交流会	毎年秋に室蘭工業大学のテニスコートで日ごろ交流のある他団体の方たちと交流試合を開催しています。
忘年会	毎年12月初旬にクラブ会員で行われる、そりゃあ楽しい忘年会です。
年会費	3,000円 <small>※祝津公園テニスコート使用料として1日300円（その都度必要）・試合参加希望者は室蘭テニス協会選手登録料として1,500円（別途必要）・スポーツ損害保険希望者には1,850円（別途必要）・また、冬場の西中学校体育館練習参加者には別途2,000円程度（別途会費）</small>



【沿革】

チームの設立は2007年4月で、室蘭・登別・伊達地域在住、38歳以下のメンバー8人が在籍しています。チーム発足のきっかけは、高校時代の部活の仲間が社会人となり、室蘭に戻って一緒にテニスをやるようになったのがきっかけです。チーム発足から間もなく14年目を迎えます。

【活動報告】

テニスだけではなく、サッカーやマラソン・パークゴルフの他に冬場はスノーボードを楽しみながらメンバー同士の親交を深めています。何事も真剣に全力で基礎体力向上を図っています。本業のテニスにおいては、地元や近郊の大会に参加しながら、他チームのメンバーと親交を図り、刺激を受けつつ切磋琢磨し頑張っています。

札幌で年2回（春・秋）開催されている加盟団体戦に出場しています。

前大会で3部から4部は降格となりましたが、第40回大会では1部での出場まで上りつめました。

その際は地元の新聞記事にも取り上げて頂き、メンバー全員で喜んだことを記憶しています。

近年は少々練習量が減っていますが、全員上手くなりたい、強くなりたい、そしてテニスを楽しみたいという気持ちは全員持ちながら、日々上達を目指し練習に励んでいます。

これからも変わらぬご指導をくださいますようお願いいたします。



【沿革】

TBC です！！今年で結成 11 周年を迎えます。

名前の由来の通り？（T テニス・B バカ・C クラブ）、テニスをこよなく愛するメンバーの集まりです。

【活動報告】

日々元気に楽しく、テニスも明るく楽しくをモットーに、仲良く、時には厳しく練習に励んでいます。構成メンバーは20代から70代までと幅広く、試合実績も全日本、都市対抗出場など、室蘭のテニス発展に貢献してきたメンバーも多く在籍しています。

今後も高齢化に負けずに、テニスを楽しんでいこうと思います。



【沿革】

2015年3月に代表兼会長を務める上野栄次郎氏を中心に「TEAM SALT」が誕生しました。「テニスが好き。そしてテニスを通じて人との交流を大切にしていこう！」をスローガンに4年目を迎え、現在は13名で絶賛活動中です。

「TEAM SALT」の由来は、「戦っている相手が困っている時、苦しんでいる時、戦いの本質ではないところは助ける」ということわざの「敵に塩を送る」から来ているとか来ていないとか……。これからも「TEAM SALT」は、会員一人ひとりの「テニスが好き」を育てていけるような温かいチームにしていきたいと思っています。皆さんどうぞよろしくお願い致します。

【活動報告】

現在、体育館でのチーム練習や飲み会、バーベキューなどテニス以外のイベントも盛沢山です。会員一人ひとりがテニスの研鑽を積み、室蘭テニス協会の大会を中心として試合に出て練習の成果を確かめ合っています。優勝のお祝いはもちろんのこと、敗戦から学びを得ようと、また悔しさを紛らわそうと試合後は集まってお酒を飲むこともしばしば。夏にはバーベキューなどをしながら会員の中で交流を深めています。

来年は「TEAM SALT」がいよいよ5周年を迎えます。これからもチームが存続し、多くの人たちがテニスを好きになって、テニスを続けていけるようなチーム作りをしていきたいと思っています。



【沿革】

学校法人片柳学園は、東京工科大学、産官学共同の研究機関として近年開設された片柳研究所、日本工学院専門学校、日本工学院八王子専門学校を有する法人で、日本工学院北海道専門学校は昭和57年に開校しました。現在はIT、クリエイティブ、医療事務、ホテル・観光、公務員、建築、電気、自動車整備など9学科を設置しています。学校敷地内にハードコートが4面あり、部員はこのコートを利用して練習に励んでいます。

【活動報告】

主とする活動は北海道専門学校テニス選手権大会への出場です。本校は、男子団体で7年連続全国大会に出場しています。この大会の上位校と上位入賞者は全国専門学校テニス選手権大会へ出場することができます。全国大会においては、数年前に個人戦シングルスでベスト8という成績を残しました。部活動は、学科ごとの授業スケジュールの違いや、資格試験の時期も異なるため、部員全員での練習はなかなか難しいですが、時間のない中、連絡を取り合い個々に集まって練習を行っています。初心者から経験者までとレベルも幅広く、それぞれが楽しみながら活動し、テニスを楽しんでいます。



「北海道室蘭栄高等学校 テニス部」

顧問: 山形 尚史

【沿革】

チーム創立は不明ですが、昭和 51 年の第 1 回高体連室蘭支部予選大会に出場しているようですから少なくとも 44 年の歴史があります。

【活動報告】

今年度の部員数は、1 年生 女子 3 名、男子 4 名、2 年生 女子 6 名、3 年生 女子 5 名でした。今年度は男子部員の不足により、高体連、新人戦ともに団体戦に出場できませんでした。テニス協会関連では、4 月に高砂テニスコートで行われる協会主催の「むろらん大会」に出場、例年大会運営を担当しています。冬季には協会の方がコーチを務めていただく練習会に 1, 2 回参加しています。

「北海道室蘭清水丘高等学校 テニス部」

顧問: 山田 明宏

【沿革】

平成 7 年以前は部員数の関係で継続して活動していない時期はありましたが、平成 7 年以降は継続して部員数が確保され、現在も活動しています。

室蘭清水丘高校の硬式テニス部は、過去に全道大会への出場があり、輝かしい成績を残しております。勉強と部活動を両立し、日々の練習を一生懸命頑張るプレーヤーを多数輩出しています。

【活動報告】

練習は学校のテニスコートで行っています。学校のテニスコートは 3 コートありますが、軟式テニス部も練習しているため、練習コートは 1 コートの使用となっています。1 コートでも生徒は自ら工夫し、全員が楽しんでもできるように活動しています。

大会前は祝津や高砂テニスコートで練習をしたり、近隣の学校との練習試合を行い、他学校との交流やテニス協会の方との練習会に参加しております。

最近では部員数の減少で、男子 2 名、女子 2 名で活動しております。何とか今後も活動していけるように部員数を確保したいと考えております。

前監督 大類 隆之
現監督 竹森 伸幸

【沿革】

室蘭テニス協会創立 50 周年おめでとうございます。私がテニス部の監督についたのは、教員になって 2 年目の昭和 51 年の春、テニス好きの高校 3 年生が作った愛好会の「引率顧問」が始まり。当時は、室蘭の高校に部活動として存在したのは、室蘭栄高校のみで、ソフトテニス部が主流の地に種まきからのスタート！室蘭テニス協会に加盟し、高体連に登録が認められたのが昭和 54 年、2 校で地区大会を栄高校のテニスコートで開催した。その後、参加校が苫小牧東高校・白老東高校・浦河高校と徐々に増え続け、室蘭支部が全道で認められる存在になり、その一助としてお手伝いできたことを大変うれしく思っています。

【活動報告】

平成 24 年度、北海道高校秋季テニス大会で、準決勝で函館白百合高校に負けはしたが、3 位決定戦で札幌西高校に、S1 : 4-6、D1 : 6-0、S2 : 6-2、D2 : 7-5 の 3-1 で勝利。全国選抜高校テニス大会「選抜委員会検討枠」に推薦され、平成 25 年 2 月 1 日朗報が学校に届き「センバツ出場決定」した。その理由は、『今後、加速するであろう統廃合の環境において、全国大会初出場の機会が得られることは、全国の刺激にもつながる。今まで全道大会上位進出が困難であった中、今回実力校を破った実績も考慮した』である。博多の森テニス競技場センターコートでの開会式は、いまでも忘れることのない思い出である。

【最後に】

当時、岩見沢東高校におられた、幾度となく練習試合をお願いした、佐々木雄介先生からの何度も泣かされた一文を紹介します。

「女子では、札幌日大高校と札幌清田高校ではない学校が、また 1 校、全国大会を経験する。それが意味する価値の大きさを思わずにはいられないのだ。そしてそのチームが毎年数多くの練習試合を行い、室蘭支部や北海道全体のテニス部にたくさんの刺激や影響を及ぼしている大谷室蘭高校であることの意味は、選考理由にある通りの理由で、計り知れないのだ。これからの室蘭支部・協会の更なる活躍を、願っております。



【沿革】

海星学院高等学校テニス部は、1972年創部（室蘭カトリック女子高等学校から続く）の文武両道を基本として活動している部です。「人間育成」を念頭に置き、テニスの成長はもちろんのこと、しっかりとした強い意志で目標に対して全力でチャレンジし、何事においても逃げずにやりきる力を育むことを目標としています。単に個人の大会で成績を収めるのではなく、部員全員が一丸となって全国大会出場するという強い意志のもと、日々の練習に取り組んでいます。昨年より、幼稚園生から小学生までを対象に「キッズテニス教室」をスタートしました。キッズテニス教室では、高校生がコーチとなりキッズを指導する中で、「伝える力」や「コミュニケーション能力」の向上を図るとともに、初心を忘れずテニスの面白さを追求しています。

【活動報告】

現在の部員数は、1・2年生合わせ男子4名女子2名です。インターハイや選抜・全日本ジュニアなどの全国大会出場が最終目標ではなく、そこで戦えるチームを目指しています。

また今後の団体戦に焦点を合わせ、個々のレベルアップ以上にチーム力の向上を目標に掲げています。初心者から経験者までテニスのレベルに関係なく、共通の意識で、壁をつくらず、限界を決めず、1球1球を大切に練習しています。

《主な出場大会&結果》

全国大会 U15 中牟田杯全国選抜ジュニア出場 小笠原陸 志賀瑚華

全日本ジュニア選抜室内テニス選手権大会出場 小笠原陸

全道大会（第41回北海道高等学校秋季テニス大会）

男子シングルス 準優勝 小笠原陸 男子ダブルス 3位 村上悠/小笠原陸

女子シングルス 3位 志賀瑚華



【沿革】

本校は、北海道室蘭東高等学校と北海道室蘭商業高等学校の統廃合により、平成 18 年（2006 年）に開校した総合学科の学校です。

校舎は室蘭東高校の校舎を使用していますが、テニス部は室蘭東高校の頃より活動していました。開校後は、男女併せて 1 学年で 10 名以上在籍していたこともありますが、生徒の部活動離れもあって徐々に人数が減っており、ここ数年は新入部員が 1 桁台の前半という学年が続き、高体連の大会で団体戦に出場できるかどうかという状況が続いています。令和を迎えた今年は女子部員しか在籍していません。

【活動報告】

練習は、春から秋にかけてはほぼ毎日、学校にあるテニスコートを使用して行っています。学校にコートは 3 面ありますが、ソフトテニス部と分け合う形で使用しています。冬期間は、ウェイトトレーニングや体幹トレーニングなどを中心に練習しており、月に何度かは学校の体育館での練習も行っています。また、学校のすぐ近くに高砂テニスコートがあるので、春先に学校のコートがまだ整備できていないときなどは利用しています。

中学でソフトテニスや他の競技を経験している生徒がほとんどであるため、高体連等大会では、1 年では 1 勝でもあげることを、2・3 年では全道大会への出場を得ることが目標となっています。

高体連室蘭地区予選 栄誉のあと

【男子】

回(年度)	団体戦	個人戦【ダブルス】	個人戦【シングルス】
第1回(51)	室蘭栄高校	杓沢 穰・小田中 孝 組(室大谷)	杓沢 穰(室大谷)
		本堂 隆志・畑 正治 組(室蘭栄)	
第2回(52)	室蘭栄高校	広瀬 和史・鎌倉 和 組(室蘭栄)	東 琢也(室蘭栄)
第3回(53)	室蘭栄高校	金塚 雄治・登坂 浩道 組(室蘭栄)	東 琢也(室蘭栄)
第4回(54)	室蘭栄高校	小杉 英顕・渡辺 史 組(室蘭栄)	登坂 浩道(室蘭栄)
第5回(55)	室蘭栄高校	佐藤 竹志・藤田 誠一 組(室蘭栄)	武田 恭一(室蘭栄)
第6回(56)	室蘭栄高校	三浦 秀範・宇佐見 靖 組(室蘭栄)	越前谷善宏(室蘭工)
第7回(57)	室蘭栄高校	三浦 秀範・菊池 達也 組(室蘭栄)	鈴木 恵二(室蘭栄)
第8回(58)	室蘭工業高校	神下 伸洋・原子 智之 組(室蘭工)	神下 伸洋(室蘭工)
第9回(59)	室蘭栄高校	井上信太郎・栄 憲芳 組(苫小牧東)	鮭川 昭夫(室蘭東)
第10回(60)	室蘭栄高校	菅原 慶之・森本 幸男 組(室蘭栄)	森本 幸男(室蘭栄)
第11回(61)	室蘭大谷高校	松浦 秀夫・藤田 勇一 組(室蘭工)	粕谷 純司(様似)
第12回(62)	室蘭東高校	桜井 幸寛・伊藤 秀司 組(室大谷)	桜井 幸寛(室大谷)
第13回(63)	室蘭工業高校	遠藤 誠治・菊池 学 組(室蘭工)	中野 誠(室大谷)
第14回(1)	室蘭大谷高校	中野 誠・竹内 理光 組(室大谷)	高橋 邦彦(室蘭東)
第15回(2)	室蘭東高校	高橋 邦彦・豊岡征士郎 組(室蘭東)	高橋 邦彦(室蘭東)
第16回(3)	苫小牧南高校	丸岡 秀弘・山本 晃嗣 組(白老東)	下澤 正明(室蘭栄)
第17回(4)	室蘭栄高校	下澤 正明・坂井 智昭 組(室蘭栄)	下澤 正明(室蘭栄)
第18回(5)	白老東高校	小清水 涉・佐々木広幸 組(室蘭東)	小清水 涉(室蘭東)
第19回(6)	苫小牧東高校	佐藤 伸也・峯岸 寛 組(室大谷)	峯岸 寛(室大谷)
第20回(7)	苫小牧東高校	金内 亮二・黒田 聖 組(白老東)	金内 亮二(白老東)
第21回(8)	白老東高校	金内 亮二・新垣 奏平 組(白老東)	金内 亮二(白老東)
第22回(9)	室蘭大谷高校	峯岸 秀樹・木村 悠平 組(室大谷)	峯岸 秀樹(室大谷)
第23回(10)	苫小牧東高校	駒澤 善輝・河原 史憲 組(苫小牧工)	駒澤 善輝(苫小牧工)
第24回(11)	室蘭清水丘高校	湊 博詞・佐藤 幸夫 組(室清水)	湊 博詞(室清水)
第25回(12)	室蘭栄高校	五十嵐勇介・佐藤 大輔 組(室清水)	五十嵐勇介(室清水)
第26回(13)	室蘭栄高校	五十嵐勇介・有坂 拓人 組(室清水)	五十嵐勇介(室清水)
第27回(14)	室蘭栄高校	津村 哉瑠・梁瀬 亮 組(苫小牧南)	松村 佑太(室蘭栄)

第 28 回(15)	室蘭栄高校	畠山 陽介・松村 佑太 組(室蘭栄)	松村 佑太(室蘭栄)
第 29 回(16)	白老東高校	松村 佑太・先崎 航 組(室蘭栄)	松村 佑太(室蘭栄)
第 30 回(17)	苫小牧東高校	大萱生洋彰・黒澤 俊彦 組(室蘭栄)	五十嵐 拓(苫小牧東)
第 31 回(18)	苫小牧工業高校	西谷内哉太・長沼 聡 組(苫小牧工)	三澤 友弥(白老東)
第 32 回(19)	海星学院高等学校	秋山 薫・小山田泰斗 組(海星学院)	秋山 薫(海 星)
第 33 回(20)	海星学院高等学校	秋山 薫・小山田泰斗 組(海星学院)	小林 瞭(室蘭栄)
第 34 回(21)	苫小牧東高校	窪田 紘之・大槻 優雅 組(海星学院)	小山田泰斗(海 星)
第 35 回(22)	海星学院高等学校	岩田 至叡・岩室 宏樹 組(苫小牧東)	大槻 優雅(海 星)
第 36 回(23)	苫小牧東高校	岩田 至叡・岩室 宏樹 組(苫小牧東)	岩田 至叡(苫小牧東)
第 37 回(24)	苫小牧高専	八木沢 優・古谷 一哲 組(苫高専)	中村 勇斗(苫小牧工)
第 38 回(25)	苫小牧東高校	伊藤 光平・佐藤 祐太 組(苫小牧東)	中村 勇斗(苫小牧工)
第 39 回(26)	苫小牧東高校	大友 雄登・藤澤 秀太 組(大谷室)	大友 雄登(大谷室)
第 40 回(27)	道大谷室蘭高校	加藤 洋明・藤澤 秀太 組(大谷室)	小口 直樹(大谷室)
第 41 回(28)	苫小牧東高校	岡村 圭太・山本 風人 組(苫小牧東)	石垣 倫(苫高専)
第 42 回(29)	海星学院高等学校	加藤 駿一・出雲路等志 組(苫小牧東)	加藤 駿一(苫小牧東)
第 43 回(30)	苫小牧東高校	村上 悠・森田 尚輝 組(海星学院)	村上 悠(海星学院)
第 44 回(31)	海星学院高等学校	村上 悠・工藤 良組(海星学院)	村上 悠(海星学院)

【女子】

回(年度)	団体戦	個人戦【ダブルス】	個人戦【シングルス】
第1回(51)			
第2回(52)	室蘭大谷高校	渡辺えりこ・飯島 美香 組(室蘭栄)	種市 洋子(室大谷)
第3回(53)	室蘭大谷高校	飯島 美香・坂下可奈子 組(室蘭栄)	渡辺えりこ(室蘭栄)
第4回(54)	室蘭大谷高校	中里 尚美・鈴木 雅子 組(室大谷)	小笠原玲子(室大谷)
第5回(55)	室蘭栄高校	畑 かおる・小田桐朋子 組(室蘭栄)	山口千香子(室蘭栄)
第6回(56)	室蘭大谷高校	中村 定子・工藤 悦子 組(室大谷)	中村 定子(室大谷)
第7回(57)	室蘭大谷高校	中村 定子・工藤富士子 組(室大谷)	鈴木 恵子(室カリック)
第8回(58)	室カリック女子高校	大西 美歌・菊池 祐子 組(室カリック)	大西 美歌(室カリック)
第9回(59)	苫小牧東高校	志村真紀子・越田 佳織 組(苫小牧東)	志村真紀子(苫小牧東)
第 10 回(60)	室蘭栄高校	越田 佳織・坂井 里加 組(苫小牧東)	越田 佳織(苫小牧東)
第 11 回(61)	苫小牧東高校	坂井 里加・飛谷 浩美 組(苫小牧東)	坂井 里加(苫小牧東)
第 12 回(62)	室蘭栄高校	木屋さおり・平野 美穂 組(室大谷)	八木千穂子(室蘭栄)

第 13 回(63)	室蘭大谷高校	佐藤ますみ・絹川 恵美 組(室大谷)	佐藤ますみ(室大谷)
第 14 回(1)	室蘭大谷高校	安藤 雪絵・保坂 理佳 組(室蘭栄)	樋江井文代(白老東)
第 15 回(2)	苫小牧東高校	成田 陽子・高橋 陽子 組(苫小牧東)	坂井美哉子(苫小牧東)
第 16 回(3)	苫小牧東高校	長原 陽子・鈴木 由紀 組(室大谷)	和嶋恵美子(苫小牧東)
第 17 回(4)	苫小牧東高校	鷹背 明美・荒 早苗 組(室大谷)	上瀬戸聖美(苫小牧東)
第 18 回(5)	聖ベネ女子高校	間山 綾子・松野 幸恵 組(白老東)	間山 綾子(白老東)
第 19 回(6)	聖ベネ女子高校	嶋崎 法子・川岸 美希 組(室大谷)	松田いずみ(聖ベネ女)
第 20 回(7)	室蘭大谷高校	山田 英子・秋田 好絵 組(室大谷)	山田 英子(室大谷)
第 21 回(8)	室蘭大谷高校	渡部 麻美・吉田 麻美 組(室大谷)	西澤 和恵(室大谷)
第 22 回(9)	室蘭大谷高校	西澤 和恵・菊地真佐美 組(室大谷)	橋本 美穂(白老東)
第 23 回(10)	室蘭大谷高校	菊地真佐美・武藤 友紀 組(室大谷)	菊地真佐美(室大谷)
第 24 回(11)	室蘭大谷高校	友原 紘未・戸澤あゆみ 組(室大谷)	友原 紘未(室大谷)
第 25 回(12)	室蘭大谷高校	箕輪 智美・戸澤あゆみ 組(室大谷)	斎藤 翠(白老東)
第 26 回(13)	苫小牧東高校	高見 沙紀・菊池喜久江 組(室大谷)	須々田亜海(苫小牧東)
第 27 回(14)	苫小牧東高校	高見 沙紀・菊池喜久江 組(室大谷)	須々田亜海(苫小牧東)
第 28 回(15)	室蘭大谷高校	袴田 絵理・花田 樹 組(室大谷)	熊川 涼音(室大谷)
第 29 回(16)	室蘭大谷高校	高橋 日希・熊川 涼音 組(室大谷)	根本 麻衣(室大谷)
第 30 回(17)	室蘭大谷高校	高橋 日希・高根 未来 組(室大谷)	根本 麻衣(室大谷)
第 31 回(18)	室蘭大谷高校	森口 惟香・元石 佑美 組(室大谷)	元石 佑美(室大谷)
第 32 回(19)	室蘭大谷高校	室塚あかり・高橋 唯 組(室大谷)	室塚 あかり(室大谷)
第 33 回(20)	苫小牧南高校	村上 真央・小林 繭子 組(海星学院)	村上 真央(海星学院)
第 34 回(21)	海星学院高等学校	村上 真央・猪又あかね 組(海星学院)	村上 真央(海星学院)
第 35 回(22)	室蘭大谷高校	猪又あかね・池田真佑子 組(海星学院)	橋本 麻美(室大谷)
第 36 回(23)	室蘭大谷高校	中浜 美咲・毛利 円香 組(室大谷)	猪又あかね(海星学院)
第 37 回(24)	道大谷室蘭高校	西野 まりえ・小山 美樹 組(大谷室)	大塚 鈴菜(厚 真)
第 38 回(25)	苫小牧東高校	小山 美樹・水元 亜実 組(大谷室)	大塚 鈴菜(厚 真)
第 39 回(26)	苫小牧東高校	高嶋沙耶佳・中浜 真琴 組(室東翔)	大塚 鈴菜(厚 真)
第 40 回(27)	道大谷室蘭高校	成田その子・土上 綾果 組(苫小牧東)	小山内 志織(大谷室)
第 41 回(28)	道大谷室蘭高校	小山内 志織・熊川 結子 組(大谷室)	小山内 志織(大谷室)
第 42 回(29)	苫小牧東高校	岸 萌歌・諸岡 さくら 組(苫小牧東)	熊川 結子(大谷室)
第 43 回(30)	苫小牧南高校	永森 愛彩・清水 遥香 組(海星学院)	永森 愛彩(海星学院)
第 44 回(31)	海星学院高等学校	永森 愛彩・志賀 瑚華 組(海星学院)	永森 愛彩(海星学院)

「北海道都市対抗テニス大会 過去30年の結果」

1989年	第40回	1部	3位
1990年	第41回	1部	2位
1991年	第42回	1部	7位
1992年	第43回	1部	4位
1993年	第44回	1部	4位
1994年	第45回	1部	5位
1995年	第46回	1部	5位
1996年	第47回	1部	8位
1997年	第48回	2部	1位
1998年	第49回	1部	7位
1999年	第50回	1部	7位
2000年	第51回	1部	6位
2001年	第52回	1部	5位
2002年	第53回	1部	8位
2003年	第54回	2部	1位
2004年	第55回	1部	3位
2005年	第56回	1部	3位
2006年	第57回	1部	8位
2007年	第58回	2部	5位
2008年	第59回	2部	1位
2009年	第60回	1部	7位



1997年 第48回大会



1998年 第49回大会



2004年 第55回大会

2010年	第61回	1部	7位
2011年	第62回	1部	6位
2012年	第63回	1部	8位
2013年	第64回	2部	3位
2014年	第65回	2部	2位
2015年	第66回	2部	2位
2016年	第67回	2部	1位
2017年	第68回	1部	6位
2018年	第69回	1部	2位
全国大会出場 1回戦敗退			
2019年	第70回	1部	2位



2012年 第63回大会



2018年 第69回大会



2018年
第42回全日本都市対抗テニス大会
茨城県 神栖海浜庭球場にて

